

J P C O A R
オープンアクセスリポジトリ推進協会

2019 年度活動計画（案）

1. オープンサイエンスの推進に寄与するため、研究データの公開、流通に関する先導的な取組みを行う。
担当：研究データ作業部会
 - (1) 研究データを公開する基盤の整備に向けて、機関リポジトリの役割、機能要件について取りまとめる。(1.1) ^注
 - (2) 研究データの公開、流通促進を図るため、データベースレスキュープロジェクトを継続する。(1.2)
 - (3) 研究データの評価指標に関する実務指針“Code of Practice for Research Data Usage Metrics Release 1”を翻訳し、公開する。(1.2)
 - (4) RDM トレーニングツールの理解の助けになる用語集等を作成し、公開する。また、RDM トレーニングツールの機関運用の試行に取り組む。(1.3)

2. オープンアクセスを推進する学術情報流通の基盤を整備し、コンテンツの流通、活用を促進する。
担当：コンテンツ流通促進作業部会
 - (1) JAIRO Cloud 開発に資する情報提供を行うとともに、参加機関の利用のサポートをする。(2.6)
 - (2) 現行の SCPJ から JPCOAR サイトへの移行を行い、オープンアクセスのインフラを整備する。(2.2)
 - (3) コンテンツ収集のために効果的な方法を検討するため、統計分析等によって現状を調査する。(2.1)
 - (4) JPCOAR スキーマの普及・維持管理を継続して実施する。(2.3)

3. オープンアクセスリポジトリを支えるコミュニティとしての機能を強化する。
担当：コミュニティ強化・支援作業部会
 - (1) 協会 HP、Facebook、情報誌 CoCOAR での情報提供及び情報発信を行う。(3.2)
 - (2) JAIRO Cloud コミュニティサイトによるサポートを継続するとともに、現有のウェブサイトやコミュニティツールのあり方を整理し、新 JAIRO Cloud への移行に伴う次年度以降のサイト運営計画を作成する。(3.1、3.3)
 - (3) JPCOAR の活動成果普及、地域単位でのコミュニティ活性化をはかるため、図書館総合展のフォーラム開催及び地域でのイベントプログラムを実施する。(3.4、3.5、4.2)
 - (4) 会員機関のグッドプラクティスを情報誌やイベントで取り上げて情報共有を図るとともに、取組みへの支援策を検討する。(3.5)

4. オープンアクセス、オープンサイエンスの推進に対応できる人材育成を行う。
担当：人材育成作業部会
 - (1) オープンアクセス、オープンサイエンスを推進する人材に求められるスキル抽出を行う。(4.1)
 - (2) 対象者、目的に合わせ、研修体系の再構成を行う。(4.2)

5. 協会の活動基盤を強化し、JPCOAR のブランド力を高める。
担当：運営委員会
 - (1) 作業部会間、運営委員会と各作業部会との連絡を密にし、協会の情報収集力、企画力の強化をはかる。
 - (2) 事務局員の確保を図り、継続的な事務局体制を整備する。(5.1)
 - (3) 作業部会員の横断的な活動を組織化し、海外の動向調査等、若手、中堅職員のレベルアップを図り、人的活動基盤を強化する。(4.2、4.3)
 - (4) 協会の活動及びその成果を広く発信し、国内外での認知度を向上させる。(3.2、5.2)
 - (5) COAR Annual Meeting 及び COAR Asia OA Meeting 等に会員を派遣し、JPCOAR のプレゼンスを高める。(4.3、5.2、5.4)
 - (6) 国大図協オープンアクセス委員会、これからの学術情報システム構築検討委員会、大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) 及び学術情報流通推進委員会 (SPARC Japan) との連携体制を強化し、文部科学省、内閣府等の政策の動き及び COAR 等の動きへの適切な対応を行う。(5.3、5.4)

注：「オープンアクセスリポジトリ戦略 2019～2021 年度」活動計画の項番を示す。以下同じ。